

地域計画

策定年月日	令和6年10月29日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	南あわじ市 28224
地域名 (地域内農業集落名)	志知北 (志知北)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	31.02 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	30.44 h a
② 田の面積	30.35 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.67 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.07 h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	2.83 h a
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	約12 h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	約8 h a
(備考)	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

この地域農業の現状としては、農業法人1社・個人農家36件・その他1法人の構成で耕作している。現在、裏作は主に玉ねぎ・レタス・青ねぎやキャベツ等を生産し、表作はほとんど水稻を生産している状況。現状、地域として全く使用していない空きほ場等はないが、高齢化もあり10年後を見据えると約3分の1のほ場が耕作未定（耕作しない可能性がある）or誰かに貸す予定となっている。ほ場整備も進みほ場の条件は良くなっているが、今後の耕作予定を地域として計画していかないと耕作放棄地がかなり増加すると見込まれる。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

地域として高齢化が進む中、1社ある農業法人が現在地域の約20%を借入れて、加工業務用向けに青ねぎの生産をしている状況。また、地域としてはあわじ島農協や青果会社を通じて玉ねぎやレタスを主に生産していますが、今後はほ場の集約を行い機械化を進めたりドローンの活用などスマート化も進めていく必要がある。また、地域としての特産品として一部果樹等への転換や将来に向けて玉ねぎの輸出等も考えていきたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
ほ場整備が進み、生産効率が上がっているが、生産原価が上がり続けているため、機械化を進めると同時に新たな技術も導入しながらコスト低減を図る必要がある。 地域として情報交換を常に行い、あらゆる選択肢をもって全体的に農産物の出荷量を上げるとともに農業利益も上げていけるような取組みを考えていきたい。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	44.7	%	将来の目標とする集積率
			68.4 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
地域計画を作るとともに現在集約化されていないほ場も多いので、将来に向け地域で話し合い、より効果的に集約化を進めていきたい。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
地域計画を作成する中で事前に話を進めておく。 将来に向けて誰かに貸す予定の方や未定の方にあらかじめ地域として話を進めておく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
具体的にはまだまだ地域として話は出来ていないが、今後農地中間管理機構を活用しながら空きほ場等を共有し、効率的に農地の集約化を進めていきたい。
(3) 基盤整備事業への取組
地域としては、近い将来、ほ場整備の工期が終わるので取り組みとしては特にはない状況。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
現在、農業法人が1社この地域に存在している。今回の地域計画で空きほ場等や耕作放棄地になる予定はない。一方で、1社だけではリスクも高いため、地元の農業者が農地を集約しつつ、法人を設立し規模拡大を目指す他、新規農業者の受け入れ等、積極的に経営力ある担い手確保を行っていききたい。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現状は委託の取り組みを行っていない。今後も地域の農業者の高齢化が進行するため、これまで以上に農作業の委託に取り組むことも充分に考えられる。支援サービス等の内容については、地域内の状況について共有を進めながら執り行っていきたい。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☒	④畑地化・輸出等	☒	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☒	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①山沿いにある獣害柵の手直しや確認を毎週行っている。
- ③トラクターのGPS(直進キープ等)機能の活用する。ドローンを使用した防除の活用も考える。
- ④淡路島名産である玉ねぎの生産者も多いため、将来に向けて地域で輸出も検討する。
- ⑤新規地元特産品として、果樹ハウスを検討する。
- ⑧現在の施設が老朽化が進んでいるので、より効率化を求めた施設が必要。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面 積	経営作目等	経営面積	作業受託面 積	目標地図上 の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			ha	ha		ha	ha		

注1：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3：農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4：作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5：備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・％）	
-------------	--	---------------	--

注1：「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2：「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3：提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状				10年後 (目標年度：令和 16 年度)						
		経営作物等	経営面積		作業受託面積	経営作物等	経営面積		作業受託面積	目標地図上の表示	備考	
1	認農	青葱・玉ねぎ	5.09	ha		ha	青葱・玉ねぎ	6.29	ha		1	
2	認農	玉ねぎ・レタス	2.33	ha		ha	玉ねぎ・レタス	2.84	ha		2	
3	認農	玉ねぎ・ブロッコリー	2.53	ha		ha	玉ねぎ・ブロッコリー	3.25	ha		3	
4	利用者	玉ねぎ・レタス	1.76	ha		ha	玉ねぎ・レタス	2.04	ha		4	
5	認農	玉ねぎ・レタス	1.16	ha		ha	玉ねぎ・レタス	1.16	ha		5	
6	利用者	青葱	1.60	ha		ha	青葱	2.26	ha		6	認農候補
7	利用者	玉ねぎ	1.10	ha		ha	玉ねぎ	1.10	ha		7	認農候補
8	利用者	玉ねぎ・レタス	1.26	ha		ha	玉ねぎ・レタス	1.26	ha		8	認農候補
9	利用者	レタス	0.63	ha		ha	レタス	0.63	ha		9	
10	認農	玉ねぎ・レタス	1.06	ha		ha	玉ねぎ・レタス	1.06	ha		11	
11	利用者	玉ねぎ・レタス	0.61	ha		ha	玉ねぎ・レタス	0.61	ha		13	
12	認農	玉ねぎ・レタス	0.89	ha		ha	玉ねぎ・レタス	0.93	ha		14	
13	利用者	水稻	0.62	ha		ha	水稻	0.06	ha		15	
14	利用者	レタス	0.96	ha		ha	レタス	0.82	ha		16	
15	利用者	玉ねぎ・ブロッコリー	0.83	ha		ha	玉ねぎ・ブロッコリー	1.08	ha		17	認農候補
16	利用者	玉ねぎ・レタス	0.99	ha		ha	玉ねぎ・レタス	0.99	ha		18	
17	利用者	玉ねぎ	0.39	ha		ha	玉ねぎ	0.39	ha		20	
18	利用者	牧草	0.53	ha		ha	牧草	0.53	ha		21	
19	利用者	玉ねぎ・レタス	0.70	ha		ha	玉ねぎ・レタス	0.70	ha		22	
20	利用者	玉ねぎ	0.30	ha		ha	玉ねぎ	0.30	ha		23	
21	利用者	玉ねぎ	0.27	ha		ha	米	0.15	ha		24	
22	利用者	玉ねぎ・米	0.49	ha		ha	玉ねぎ・米	0.49	ha		25	
23	利用者	玉ねぎ	0.57	ha		ha	玉ねぎ	0.57	ha		26	
24	利用者	玉ねぎ・レタス	0.42	ha		ha	玉ねぎ・レタス	0.42	ha		27	
25	利用者	野菜	0.07	ha		ha	野菜	0.07	ha		29	
26	利用者	野菜	0.20	ha		ha	野菜	0.20	ha		30	
27	利用者	野菜	0.07	ha		ha	野菜	0.07	ha		31	
28	利用者	玉ねぎ	0.07	ha		ha	玉ねぎ	0.07	ha		32	
29	利用者	レタス	0.14	ha		ha	レタス	0.14	ha		33	
30	利用者	作付けなし	0.19	ha		ha	作付けなし	0.19	ha		34	
31	利用者	玉ねぎ	0.22	ha		ha	玉ねぎ	0.22	ha		35	
32	利用者	野菜	0.04	ha		ha	野菜	0.04	ha		36	
33	利用者	玉ねぎ	0.08	ha		ha	玉ねぎ	0.08	ha		37	
34	利用者	レタス	0.14	ha		ha	レタス	0.14	ha		38	
計		0経営体	28.34	ha	0	ha		31.17	ha	0	ha	